



# 菅野くんのナス



つやつや黒光りするナスはお日様が大好き。梅雨があけてお日様が出てくれば収量は倍増します。



収穫や水やりなどは普通の事で、一番気をかけているのは、ナスの健康状態の確認です。



農家として独立し、伴侶にも恵まれ、さらに秋にはお父さんになる菅野君です。

## ★「実りの年」にするために

5月下旬におかげさま通信に登場した菅野(かんの)君は、新人ながらナスの出荷の大黒柱を任せられています。ズッキーニなどの出荷が終わり、今は全部で約550本という大量のナスの作業に集中しています。

例えば、ナスは風で木が折れたり実が傷ついてしまうので、畑の周りを人の背丈ぐらいあるゆい草のような緑肥で囲って風除けをしています。さらに、ナスの横に支柱を立て紐を張ることで、風の影響を抑えられるよう工夫をしています。

また、一番大変と思うのが健康状態管理です。「日々、葉っぱの色を見たり花の雌しべを見たりしながら、大丈夫だとか肥料が足りないかとかを見るのが大変ですね」

目をかけ手をかけて育てているナスですが、お日様が無いと実がなかなか育ちません。

「梅雨の時期はお日様が出ない分、生育スピードが半分ぐらいになってしまいましたね。出荷量も多くは出せません。水やりをしなく済むのは良いのですが、注文に答えきれないのが残念です」

そんな菅野君におかげさま農場に入って3ヶ月経った感想を聞いてみると「出荷をきちんと出来るよう毎日集中している感じですね。研修時代とは違って自由にやれているのは楽しいですよ。まあ色々考えるのはまずは1年やってからだと思っています」とのこと。2月に結婚してこの秋にはお子さんが生まれる予定です。「野菜もそうですし、色々な意味で実りの年にしたいですね」と実直に毎日を過ごしています。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

## 【産地情報】

◎実野菜は天候次第で収量が半減します。特に梅雨時期はご注文にお応え出来ない場合があります。